

産学連携学会学金連携システム研究会 小野浩幸¹、石塚悟史²、伊藤正実³、〇内島典子⁴、大塩誠二⁵、加藤博良⁶、川崎一正⁷、川名優孝⁸、北村寿宏⁹、城野理佳子¹⁰、鞆師守⁴、塩川真澄¹¹、白澤司朗¹²、高澤由美¹、田口幹¹³、丹治惣兵衛¹⁴、野瀬真治^{15,16}、藤原貴典¹⁵、森川茂弘¹⁷、矢島治夫¹⁸、山村正明¹⁹、渡辺裕^{1,12} (山形大学¹、高知大学²、群馬大学³、北見工業大学⁴、徳島大学⁵、米沢信用金庫⁶、新潟大学⁷、東京海洋大学⁸、島根大学⁹、北海道大学¹⁰、芝浦工業大学¹¹、荘内銀行¹²、電気通信大学¹³、福島大学¹⁴、岡山大学¹⁵、トマト銀行¹⁶、秋田大学¹⁷、工学院大学¹⁸、宇都宮大学¹⁹)

1. 会員構成、目的、前年度までの活動

学金連携の取り組みは、地方およびその地域性により様々である。本研究会は22名(19機関)で構成される(2010年度末現在、図1.)。

本研究会では、各地での大学と金融機関との連携活動事例を集約し、状況の把握及び分析、モデル化ならびに学・金の双方の本体業務にメリットをもたらすためのシステム化のあり方の検討を通じて、学金連携のより効果的な推進に貢献することを目的としている。

すでに、全国の国立大学法人及び金融機関を対象とした実態アンケート調査を実施するとともに、会員の所属地域において、大学および金融機関との連携内容に独自性が生まれていることなどが、これまでの研究会活動の中で明確となっている。



図1. 学金連携システム研究会会員構成

2. 2010年度の活動

	活動概要	内容
1	第5回研究会開催 日程：平成22年4月8日(火) 会場：東京海洋大学越中島キャンパス 参加：13人	・学金連携をより効果的に推進するため、事例の類型化方針の検討議論 ・学金連携の類型化・事例分析のための取り組み事例集の作成、および学金連携システムのモデル構築に向けた具体的な取組みについて検討議論
2	学会誌「産学連携学」に論文掲載	・学会誌「産学連携学」に研究会が実施した全国アンケート調査結果分析の基礎的研究を論文掲載 ¹⁾ (平成22年5月)
3	産学連携学会第8回大会 日程：平成22年6月24日～25日 会場：ロワジュールホテル函館	・研究会活動をパネル発表 ・「学金連携」セッションが設定され、研究会会員による一般講演3件 ²⁾³⁾⁴⁾ を含めた全4件の研究発表
4	研究会活動の発表 日程：平成22年12月8日 会場：信金中金京橋別館	・コラボ産学官の文部科学省委託事業「金融機関との連携による産学官連携強化方策に関する調査」キックオフミーティングにおいて、研究会活動並びに全国アンケート調査実施結果の概要を発表
5	研究会活動の発表 日程：平成23年2月1日 会場：ホテル仙台プラザ	・東北経済産業局の平成22年度地域経済産業活性化対策調査委託費「地域経済活性化に貢献する産学官金連携・協働活動の促進に関する調査」座談会において、研究会活動並びに全国アンケート調査実施結果の概要を発表

3. 今後に向けて

省庁を超えた地域産業振興施策として、いわゆる「産学官金連携」に対し各方面からの関心が高まっている。一方で、その関心の対象は、「金融機関が関与することで資金の提供が円滑になるのではないかと」、「企業情報を有する金融機関がコーディネータ役を果たすことで産学連携が活発化するのではないかと」といった初期的、表層的なものにとどまっているのが現状である。今後、本研究会会員増大を図り、事例の充実、その後のモデル化、システム化にむけて検討を進めていく必要がある。

1) 高澤由美、小野浩幸「学金連携の実態に関する基礎的研究」産学連携学、Vol.6, No.2, p33～p43 (2010.5)

2) 第8回産学連携学会(函館大会)0624C1300-1 岡山地域の産学金連携活動 横山 敦、野瀬真治、藤田哲男、藤原貴典(岡山大学)

3) 第8回産学連携学会(函館大会)0624C1300-3 学金連携人材育成制度の評価 渡辺 裕、小野浩幸(山形大学)

4) 第8回産学連携学会(函館大会)0624C1300-4 学金連携システム「米沢モデル」の構築 加藤博良、小野浩幸(山形大学)